



Lupinus [ルピナス]

田村 良子

TAMURA RYOKO

1978年 柏崎市出身
2021年 ルピナスをオープン

今年7月末、諏訪町に「小さな花屋さん ルピナス」がオープンした。店舗入り口には組花やアレンジメント、季節ごとの花も1本売りで並んでいる。客の要望から旬の果物や野菜が棚に並ぶこともある。オーナーは田村良子さん。店名のルピナスは花の名前、田村さんの誕生花だ。

昨年4月、地域の人たちに惜しまれながら店を閉じた「くらこう」で長く働いていた。田村さんは別の店でアルバイトを始めたが、アルバイト先でくらこうの常連客から「くらこうで売っていた野菜がほしい。果物が食べたい。花屋がないと困る」と話しかけられることも多かった。田村さんはいつも「すみません」と笑顔で応えていたという。

そんなお客さんの声も気になり、アルバイト期間が終了することもあって今年3月に花屋を起業することを決めた。

くらこうに勤めていた頃、田村さんは店長代理として生花も任されていた。花の組み方は先代の社長から直に手ほどきを受け、組花やアレンジメント、法事などで寺に飾る大きな花も注文を受けて作っていた。「仕事の内容はくらこうの時と同じ。ずっとやってきた仕事なので苦では

なく、楽しい」と話す。

ルピナスは元々くらこうの倉庫だった場所だ。店奥は店の4倍ほどもある冷蔵スペースになっていて、商品の保管やお盆、お彼岸用の組花やアレンジメントを作るには最適の場所。花屋を始めるための備品が残っていたことも起業の後押しになった。「私が店をやることを見越して(くらこうの)店長が取っておいてくれたみたいなんです」とほほ笑む。

店には生花の他に旬の野菜や果物なども並ぶが、これは全て客からのリクエスト。要望があると市場へ行って仕入れるという。

「花の競りはようやくできるようになったんですが野菜の競りは難しくて。どうしても欲しい時は店長にお願いして一緒に行ってもらいました。くらこうは等級や目利きでおいしいものを選んで販売していたのでお客さんもそれをわかって来てくれたと思うんです。その信頼は落したくない」と話す田村さん。大切にしているノートには、くらこうの閉店でお客さんが買えずに困ったという声や商品リストがびっしりと記されている。

店頭には生花の他、国産、それも柏崎産の青々とした椿が安価で並んでいる。注文すると知り合いの人が山に入り調達してくれるそうだ。店を開店すると間もなくして、くらこうの常連さんが次々に訪れ、久しぶりだねと開店を喜んでくれたという。

「ひとりて頑張ったわけではなくて、本当にたくさんの人に助けられています」と感謝し、田村さんは前を向いた。



お問い合わせ

Lupinus ルピナス

柏崎市諏訪町3-4

TEL 0257-38-9035

営時 9時30分～17時

休 水曜・不定休あり

✉ lupinusflower310@gmail.com

*花のアレンジメントは3日前までのご予約をお願いします。